「高校生から見たキャリア教育実態調査」掲載記事

大阪日日新聞　2018年9月12日 発行

● 20面に掲載されました。

曜日　©新日本海新聞社 2018　（日刊）

9月12日（水）
2018年（平成30年）

発行所
新日本海新聞社
大阪本社
〒531-大阪市北区中津6-7-1
電話(06)6454-1101(代表)
FAX(06)6454-1400

記事・情報提供は
編集(06)6454-7056
大阪の広告は
営業(06)6454-7058
鳥取・山陰地区の広告は
(06)6454-7055
配達・購読は
販売(06)6454-7057

新刊1部 90円
さらにお得な月極め1カ月
2,050円
(本体1,899円＋消費税151円)
購読申込専用フリーダイヤル
0120-728-468

大阪日日新聞

きょうの紙面　旧暦8月3日　宇宙の日

佐山雅弘トリオで新作　17

ジャズピアニストの佐山雅弘が鍵盤原良次と福森康とトリオ組み新作。

地域　キャリア教育効果に差　20
キャリア教育で働くイメージを培うプログラムでは、受けた数より取り組み方で効果に差がでると判明。

総合　米朝首脳再会談、年内にも　3
運動　大相撲、稀勢ら3横綱3連勝　12
社会　タンカー走錨状態で橋衝突　23
くらし　多彩なアイデアの「ニット」　11

【20面掲載部分】

キャリア教育 "量より質"

準備や振り返り大切

高校生の職場体験など

キャリア教育のうち、働くイメージを培うプログラムについて、受けた数よりも準備や振り返りといった取り組み方で効果に差が出るとのアンケート結果を、大阪の調査会社などがまとめた。普段の授業や課外活動でも、仕事に就くときに役立つ力を伸ばせることも分かった。（加星宙麿）

大阪の調査会社がまとめ

「応用社会心理学研究所（大阪市中央区）などでつくる「"しごと観育成"研究会」が2017年2～7月、全国の高校18校（469人）を対象に、キャリア教育の効果について調査。「職場体験」や「適職診断」などを受けた結果を受け、「やりたい仕事がイメージできる」「仕事は楽しいもの」と思える割合などを分析した。

このうち「職業調べ」では、活動前の目的の確認や活動後の振り返りを「行った」グループは、「自分に合った仕事が見つかる」と肯定的に捉えた割合が半数近かったのに対し、「行っていない」グループと、プログラムを受けていないグループは、ともに3割余りにとどまっていた。

ほかの項目でも同様のケースがあり、取り組み方がポイントとなっていた。

一方、「キャリア教育」か「授業や課外活動」のいずれかで「他の人とうまく協力した、助け合った」という経験をした生徒は、「自分に合った仕事が見つかる」と思う割合が、それぞれ3割余りと同数。ところが両方で経験していると5割弱まで高まっていた。

将来に生かされる経験を、普段の学びで意識的にさせる意義が浮き彫りになり、キャリア教育と合わせれば、より成果を上げられる側面が複数の項目で浮き上がってきた。

中央教育審議会答申では、キャリア教育で育む基本的な力について、人間関係形成・社会形成能力▽自己理解・自己管理能力▽課題対応能力▽キャリアプランニング（人生設計）能力―の4能力に整理。教育活動全般でどういった能力を伸ばせるのか再認識することが求められている。

企画・開発・調査分析：”しごと観育成”研究会

“しごと観育成”研究会とは
13歳のハローワーク公式サイトを主体に，その運営会社である株式会社トップアスリートと，株式会社応用社会心理学研究所（アスペクト）が高等教育機関に呼びかけ，研究会の趣旨に賛同していただいた大学の研究者や専門学校と共に2006年10月に立ち上がりました。若者の“しごと観”の現状や，それらを育成あるいは影響する要因をつきとめるための調査・研究活動を行っています。